

第104号
平成29年
11月

HPに 創刊号から
連載中

もう一つの道

情報は、うのみにせず、注意
深く徐々に試して下さい。

山田整骨院
熊本市中央区出水 4-25-1
096-364-7611

<http://yamadasu.com/>

[熊本交通事故, 山田整骨院](http://www.jiko-kumamoto.net/)

<http://www.jiko-kumamoto.net/>

昭和二十九年二月十一日 九十九歳クラブ講演

長寿の西医学

西勝造

月刊西医学 昭和29年5月号

五、旧約聖書:詩篇:の解釈

お手元に二大思想界と言われるところのキリスト教と仏教の新批判と西医学の関係を
ことを書いてある印刷物が差上げてあります。いかにマホメットであるとか、天理教であ
るとか申しましたところで、世界の二大宗教といえ、キリスト教と仏教であります。

そこでまず最初にキリスト教のほうから申し上げますと、旧約聖書の『詩篇』の第103
篇には、

「エホバはなんぢすべての不義をゆるし汝のすべての疾(やまい)をいやしたまふ」
ということがございます。これはこの間、教育会館でも申し上げたのですけれども、私の
手元には、ギリシャ語、ラテン語、ドイツ語、露語、フランス語、朝鮮語、イタリア語、
日本語訳、支那訳、英語訳等々十四種類の聖書を備えつけてあります。いやしくもキリス
ト教を論じようとする者が、日本語訳の聖書だけを読んで、キリスト教の批判をするとい
うことは、まことにおこがましい次第であります。また、そういうことで批判のできるも
のでもありません。ギリシャ語にはどう書いてある、ラテン語にはどう書いてあるとい
うように、一つ一つ論及して参りますと、まったく解釈の違ったところのあることを発見す
るのであります。

そこで、ただいまの『詩篇』の第103篇の解釈を或る宣教師の方に聞きますと、神は如
何なる不義をしても、懺悔さえすればお許し下さるということである。とはっきり答えら
れました。その宣教師の名前は、みな手帳に書いてあります。それから今度アメリカへ参
りまして、やはりそのことを聞きましたら、西医学をやっておられた方もあり、無い方も
ありキリスト教の宣教師の方は、殆どみんなそういう解釈をしておられました。ところが
支那訳になりますと、「彼免=爾諸愆-」〔読方〕(彼爾の諸愆を免す)となっております。

「愆(けん)」という言葉は、不義密通ということではなく、過ちというような意味なので
あります。不義も過ちではありますが、たいていの宣教師の方はこの不義を、いわゆる不
義密通というほうに解釈しております。英語でもそうっております。だから、ラテン語
なり、ギリシャ語から入らなければ、ほんとうの意味が判らないというのはそこなのです。

「われわれにとっては、生命はわれわれの思考の中に存在する。何故かという、思考
過程がなければ、われわれは生命の存在に気づかないからである」こういう大前提を置き
まして、小前提として「若干の思考は錯覚である。何故ならば、われわれは真実でないも
のも考えることができるからである」だから断案といたしまして、「従って生命は錯覚を
相伴うこともある。従ってわれわれは真実である観念や印象と錯覚であるものとを識別す
ることを学ぶべきである」正しく解釈したものと間違っただけのものがあるから、正しいほう
の解釈をする頭をつくらなければならないというのであります。ところが、多くの人々は
間違っただけの現代医学の思向を信じているわけでありまして、これは決して正しい流れではな
い。如何にも世人はそれが正しいように考えていらっしゃるけれども、それは飛んでもない
間違いであるのであります。ただいまの『詩篇』の第103篇の解釈にいたしましても、
支那訳の「諸愆」というほうが正しいのであります。

六、「マタイ伝」の解釈

また『マタイ伝』の第五章「心の貧しきものは福なり」ということの解釈にいたしましても、多くの宣教師の方は、宣教師には自家用車を持ち廻すほどの金持ちはいない。だから貧しい者は福だ。というように説いておられますが、ここの意味は、そうではありません。支那訳を御覧なされると「虚心者福矣」〔読方〕（虚心なる者は福なり）となっております。つまり、「心をむなしくする者は福（さいわい）なり」ということなのであります。「心をむなしくする」「心を空にする」と云う仏教の精神と同じことを意味する。ここが大事なことであります。

七、驚くべき霊の力を発揮するには

私どもの心には、現在意識と潜在意識とがあります。五感で働くのが現在意識で、潜在意識の方は五感では働かない。この潜在意識が、俗に霊と称せられるものであります。また自律神経とも生命神経とも内臓神経とも言われております。そしてこの自律神経は迷走神経と交感神経という全く相反した二つの働きをしております。今かりに交感神経をプラスの100でも陽性の100とでも酸性100とでもすれば迷走神経はマイナスの100或は陰性100としてもアルカリ性100としても宜敷いのである。このプラスの100とマイナスの100の全く相反した二つの神経が完全に働いて、 $(+100) + (-100) = 0$ すなわちプラス、マイナスは零になったとき、人は驚くべき霊の働きをなし得るのであります。だから交感神経のプラス100と迷走神経のマイナス100とが完全に長時間働くような修養と学問の生活をなさるところに西医学の根本原理がある。 $1=0$ $1=1$ $0=0$ これが西医学の見方であり且つ凡ゆる宗教、哲学の目標なのであります。要するに迷走神経と交感神経との二つを毎日々々平衡（零の働き）無為（無の働き）に働かせる務めと努力をなさるところに心を空しく（虚にする）することができる。虚心にすることができるのであります。朝鮮訳ではシムヤンとなっております、神霊という言葉をつかっております。シムは神、ヤンは霊という字であります。それからカナンとなっておりますが、これはひもじいということです。「神霊のひもじい者は福なり」これではまたほんとうの意味を表しておりません。ですから、ただ単に日本語聖書だけを読んで批判したり、支那訳だけを読んで批判することは、間違いであるということは、これによってもよくお判りになられたらと思うます。

八、「ヨハネ黙示録」の言葉

『ヨハネ黙示録』の第二章には「なんぢ受けんとする苦難を懼（おそ）るな……なんぢ死に至るまで忠実なれ、然らば我なんぢに生命の冠冕（かんむり）を与へん」ということがあります。たとえば脳溢血を起こして倒れた者に対して、今の医学の考えでやられたならば、生命を断れるか根治しないで長引いてしましましょう。それは今の治療医学が正しくないからであります。そこでこの『ヨハネ黙示録』の言葉が生きて参るのであります。脳溢血を起こしたとき、すぐに今の医者呼んで来て手当てをさせるということは間違ったことである。それは脳溢血を起こしたということは、もう神に近い神霊、虚心の状態にあるのです。それに対して間違った医学を施す、だから、命を取られたり長引いたり片輪者にされたりするというわけであります。ここがお判りにならなければならない。九十九歳クラブの会員にでもなろうとされる方々はもう今まで散散間違った医学を眼のあたりに見せつけられているはずであります。ですから、こういうことを申すのでありまして、これが小学校や中学校の生徒の前では、これ程、極端なことは絶対に云われるものではありません。以下略

あ と が き

今回この講話を取り上げましたのは西先生が14ヶ国語訳の聖書をお持ちになり、それぞれの言葉で聖書を読まれて正しい聖書の解釈を研究されていること、そしてこの他全ての研究に完璧を期されていることを皆さんに知って頂きたいと思ったからです。